

INNOSSOL システム 施工手順

	INNOSSOL LIGHTING 不燃	INNOSSOL LIGHTING 防災
1	現場確認後、レール取付用の下地材打合せ（天井設備の有無確認、物件毎の適した下地材の選定） ※詳しい内容は次章＜参考資料＞をご参照ください	
2	下地材設置完了後、施工部位の実測⇒膜材発注 ※材料届き次第施工可能（納期2～3週間）	
3	壁面、若しくは天井面にレールを設置	
4	ロール状に梱包された加工済みのシートを設置場所まで 折れ曲がらないよう注意しながら運ぶ	温風を用いて加工済みのシートを柔らかくする （ジェットヒーター、ドライヤー使用）
5	シートを短手の一辺からはめていき、 徐々にシートを伸ばしていく（1段目を設置）	シートをレール端部（四隅）に専用のヘラを用いて 固定する
6	レール端部にシートを固定させた後、中間部⇒端部へとシートをレールに固定する 順次長手方向の両側をはめていきその後全辺をはめて、シワ等の確認	
7	全体に問題が無ければ2段目まではめてテンションをかける	—
8	均一にテンションがかかっていることを確認する	
9	施工完了	シート温度が常温に戻ると収縮し、 施工完了
10	天井設備（ダウンライト、スプリンクラー、火災警報器等）がある場合、該当部分にABSリングを取付後、 リング内側部分のシートを切り取りし施工完了	

<参考資料>

① 壁・天井レール取付け打合せ

*レールを取付ける為に、1.6 t の鉄板or角パイプ（若しくは12mm以上の木）下地材が必要となります。
角パイプは天井レールの際に必要

② 壁の材質による補強打合せ

*壁の種類により、レール取付けが不可能な場合があります。その場合、別途の下地材(角パイプ及び木材)が必要となります。（壁レールの取付けが不可能である壁仕上げ材：タイル、石、ガラス等）

③ レール取付け壁・天井面仕上げの注意事項

*レール設置面に凹凸等がある場合、光漏れの原因となる為平滑仕上げとしてください。

④ 二重レール補強打合せ

*デザイン及び施工面積により、二重レール)必要となる場合があります。その場合、幅50mmの下地材(角パイプ及び木材)が必要となります。

⑤ 懐内部打合せ

*懐内部は白色塗装することをお勧めします。光が反射し、膜面がより美しく見えます。

*懐内部の開口、隙間、穴を塞ぐ事をお勧めします。（INNOSSOL SYSTEMの特長の1つに表面からは虫や埃が入らない為、懐側からの混入対策が整っている場合、LED交換時以外はまくの開閉が不要であり、メンテナンスフリー商品となります）

⑥ 天井設備（ダウンライト、スプリンクラー、火災報知器など）取付け時の仕様打合せ

※下地、補強、電気工事は別途工事となります。

«弊社施工範囲：レール取付け、シート(膜)設置»